

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
学童保育室運営事業	<p>学童保育室整備計画の見直し及び令和5年4月に開設する学童保育室の開設準備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆区内33地区における学童保育室ニーズの最新動向を踏まえ「足立区学童保育室整備計画」を令和4年度版として見直しました。 ◆令和5年4月開設に向けて、千住西地区に誘致した民設学童保育室1室の開設準備を進めました。 ◆令和5年4月開設に向けて、指定管理学童保育室として、鹿浜未来小学校内に2室新設し、開設準備を進めました。
子育てサロン事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆月2回、拠点型子育てサロンの10か所で実施している「あかちゃんず」は、9月から3月まで138回実施し、551組1,143人の参加がありました。 ◆拠点型子育てサロンで、0、1歳児親子を対象としたイベント(スキンシップ体操、ベビーマッサージ等)を11回実施し、96組228人の参加がありました。
文化芸術推進事業 ※評価対象外	<p>【文化分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大学連携事業委託 文化芸術への関心を高めるため、東京藝術大学連携事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・10月～1月に対面でのコンサートとして、東京藝大千住キャンパスの外、郷土博物館・中央図書館でのアウトリーチを行い、「音楽」と「文化財」・「読書」の事業連携を図りました(3回開催)。 来場者数: 延べ260人 ・11月3日に3時間を超えるオンライン音楽祭を実施しました。 当日視聴回数: 675回、アーカイブ視聴回数: 2,696回 ◆ストリートピアノ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンテポルタ千住のイベントスペース「プロローゴ広場」にて1日限定イベントとして実施しました。 参加人数: 延べ79人(大人33人、子ども46人) ◆文化のちから体験会(シアター1010) <ul style="list-style-type: none"> ・「うたっておどって絵本音楽会 ぽっぷ～受け継がれる絵本達～」(10月実施) 絵本の読み語りや生演奏、歌、ダンス等で楽しめる音楽会を実施しました(2回公演)。 来場者数: 延べ624人 ・「文化の日コンサート 純烈2022」(11月実施) ムード歌謡コーラスグループ「純烈」の無料コンサートを実施しました。 来場者数: 657人 ◆DISCOVER TOKYO(2月実施/ギャラクシティ) 演芸と日本舞踊を体験と鑑賞で楽しむイベントを2日間で開催しました。小中学生対象の体験プログラムでは落語や紙切り、日本舞踊や三味線等の伝統芸能に触れる機会を提供しました。鑑賞プログラムでは、本格的な寄席や日本舞踊の公演を行いました。 来場者数: 延べ1,522人

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>こども未来創造館事業</p>	<p>◆あだち鉄道ミュージアムスペシャル(10月実施) クイズラリーや展示等の他、子どもたちがプロから学べる職業体験「ミニこどもおしごとらんど」も実施し、鉄道会社職員から仕事内容について学び・体験する機会を提供しました(2日間)。 来場者数: 延べ8,194人</p> <p>◆ジャパンフェスタ(1月、2月実施) 歌舞伎や能楽、俳句等の発表会や足立の民話の読み語り等を通じて子どもたちに伝統、文化の体験と学びの場を提供しました(3日間)。 来場者数: 延べ8,783人</p> <p>◆こども未来創造館の来場者数: 延べ565,184人 (10月～3月 ※ 西新井文化ホール(57,565人)含む)</p>
<p>文化・読書・スポーツ活動 協創推進事業【3分野連携】 ※評価対象外</p>	<p>【分野連携】</p> <p>◆3分野連携事業(「ちよいスポ」「ちよいカル」「ちよい読み」) 主に20～40歳代の子育て世代を対象として、「読書×スポーツ」「読書×文化」「文化×スポーツ」といった分野間の連携により、各々の施設利用者が異なる分野への関心・行動につながる働きかけを行うことで、新たな分野に親しむ人を増やす取組を実施しました。</p> <p>実施内容 おはなし会の時間に親子でベビーヨガやバランスボールの体験、図書館前スペースでの写真講座や工作・アロマ体験、運動系講座でおすすめ本の紹介 など</p> <p>実施期間 令和4年8月～12月</p> <p>実施場所 15か所(生涯学習センター、地域学習センター13か所、江南コミュニティ図書館)</p> <p>実施回数 1,130回 参加人数 12,236人</p>
<p>運動・スポーツ推進事業 ※評価対象外</p>	<p>【スポーツ分野】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、感染対策を講じながら、下記事業を開催しました。</p> <p>◆パラスポーツ教室 障がいの有無に関わらず参加できるパラスポーツ教室等を、スペシャルクライフコート等で実施しました。 下半期 ・実施回数 37回 ・体験人数 926人(うち障がい者474人)</p> <p>◆ポッチャひろば 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会受講者の運営による、障がいの有無に関わらず誰もが参加できるパラスポーツ「ポッチャ」のイベントを月1回、実施しました。 下半期 ・参加人数 183人(うち障がい者79人)</p> <p>◆ウォーキングチャレンジ 開催期間(10月25日～11月30日)中の任意の1週間をチャレンジ期間とし、1週間の歩数を計測し区に報告することで、自身の日常の運動状況を把握し、その後の運動の継続を促すことを目的として実施しました。(ONEDAYウォーキングは雨天により中止) ・参加者数 692人</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>読書活動推進事業 ※評価対象外</p>	<p>【読書分野】</p> <p>◆電子図書館事業 図書館以外の身近な場所でも本に触れられるサービスを実施しました。 ① 利用登録者数 528人(10月から3月) ② 貸出冊数 8,907冊(10月から3月)</p> <p>◆あだちはじめてえほん事業 子どもの読書習慣の定着、将来の社会性と学力向上に貢献するため、乳幼児健診の機会を捉え絵本を配付し、親子で絵本に親しむきっかけを提供しました。 ① 3～4か月児健診時:健診受診時に絵本を一冊配付 配付冊数 2,104冊(10月から3月) ② 1歳6か月児健診時:健診通知に引換券を同封し区内図書館と子育てサロン・児童館で絵本と引換え 配付冊数 1,855冊(10月から3月)</p> <p>◆調べ学習用図書の配送 区内小・中学校へ調べ学習用図書の配送サービスを実施しました。 配送回数(10月から3月) ・ 小学校 21校 64回 2,420冊 ・ 中学校 5校 11回 583冊</p>
<p>ひとり親家庭総合支援事業 【ひとり親家庭交流事業(サロン豆の木)】</p>	<p>ひとり親家庭を対象に、仕事、生活、子育て等の悩みや相談、情報交換、交流をするサロンを実施しました。定期的開催し、サロン内で様々なイベントや講座を行いました。</p> <p>【サロン豆の木】</p> <p>◆開催期間 10月～3月、第2・3・4土曜日 ◆開催場所 区内地域学習センター等 ◆実施回数 18回 ◆参加世帯数 延べ100世帯201人</p> <p>【体験型「スペシャルサロン豆の木」】 ピザ作り体験 ◆開催日 12月26日 ◆参加世帯数 13世帯30人</p>
<p>ひとり親家庭総合支援事業 【就労支援】</p>	<p>児童扶養手当受給中のひとり親家庭の親が就労のための資格取得にあたり、受講費用助成(自立支援教育訓練給付金)や修学中の生活費の一部の給付(高等職業訓練促進給付金)を行いました。</p> <p>◆自立支援教育訓練給付金利用者数 延べ71人 ◆高等職業訓練促進給付金利用者数 延べ138人</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)の推進事業(妊産婦支援事業、こんにちは赤ちゃん訪問事業、3~4か月児健診事業)</p>	<p>保健師等による妊婦全数面接をはじめとし、産後の赤ちゃん訪問、3~4か月児健診、1歳時アンケート、産後ケア等により、支援が必要な妊産婦及び家庭への適切なケアを行い、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を実施しました。 また、「こども商品券」の配付による育児環境整備の支援にも取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スマイルママ面接(妊婦全数面接) 面接実施及びこども商品券配付人数 2,029人 ◆特に指導・支援が必要と判断した妊婦に対し、保健師が訪問した人数 141人 ◆こんにちは赤ちゃん訪問 訪問実施人数 延べ1,981人 ◆ファーストバースデーサポート(1歳時アンケート) こども商品券配付人数 1,896人 ◆デイサービス型産後ケア利用人数 延べ169人 ◆宿泊型産後ケア利用人数 130人
<p>ユニバーサルデザイン推進事業 【評価対象外】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆「足立区ユニバーサルデザイン推進計画(2019年度~2025年度)」に基づき、令和3年度に実施した個別施策について、自己評価及び評価部会による評価を行いました。 ◆令和4年度も各担当部署で上記計画の年度別計画に基づき、個別施策を実施しました。
<p>教育政策管理事務 【小学校図書館支援員の派遣】</p>	<p>民間事業者の専門的なノウハウを活用し、学校図書館の環境整備、読書活動の推進など、教員と連携しながら、学校図書館の活用充実にに向けた支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施校 小学校全68校 ◆支援回数 週2回 6時間/1回
<p>教育政策管理事務 【中学校図書館支援員の配置】</p>	<p>中学校全校の図書館に学校図書館支援員を1人配置し、図書の整理をはじめ、学校図書館だよりの発行、調べ学習のサポートなどにより、生徒の学習や読書活動の充実にに向けた環境づくりに取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中学校 図書館支援員 35人
<p>学校ICT推進事業 【ICT支援員派遣】</p>	<p>児童・生徒1人1台の端末環境のさらなる活用促進を図るため、専門的スキルを持ったICT支援員を各校へ派遣し、教員のICT機器活用力の向上とICT機器を有効活用した授業づくりを支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施校 小学校全68校、中学校全35校 ◆支援回数 1校あたり平均週2.5回 3.5時間/1回 (令和5年3月末現在)

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
学校ICT推進事業 【LTE端末通信費】	Wi-Fi環境がなくてもインターネットを利用できるLTE端末の通信費を計上し、学校内及び児童・生徒の自宅でタブレット端末を利用できる環境を整備しました。 ◆学校用端末での用途 ・体育館や校庭など学校LANのない場所での授業や行事への活用 ・オンライン授業への活用 ◆児童・生徒用端末での用途 ・自宅にWi-Fi環境がない児童・生徒が端末を持ち帰って活用
学校ICT推進事業 【ICT認定教育者研修】	教員のICT機器の活用力をさらに向上させるため、ICT認定教育者資格の取得を支援する研修を実施しました。 ◆実施回数 20回 ◆参加人数 798人 (令和5年3月末現在)
学力向上対策推進事業 【多層指導モデル(MIM)】	学習の基礎となる「流暢な読み」の獲得を旨とし、全校小学1年生各クラスの学習や活動において、異なる学力層の子どもに対応した指導・支援を行うとともに、教員を対象にMIM研修会を2回実施しました。 ◆参加者 第3回80人・第4回81人 ◆実施方法 第3回,第4回ともに集合型
学力向上対策推進事業 【そだち指導員配置】	小学校全校に指導員を配置し、3・4年生を対象に別教室で個別指導(国語・算数)を行い、つまずきの早期解消を図りました。 ◆そだち指導員 小学校 73人(令和5年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【足立はばたき塾】	家庭の事情などにより塾等の学習機会が少ないが、成績上位で学習意欲が高く、将来の夢の実現に向けて難関高校等への進学を目指す、中学3年生を対象にした、難関高校等受験対策講座を民間教育事業者を活用して実施しました。 ◆参加生徒数 91人 ◆定期講座(土曜日実施) 18回を予定通り実施 ◆集中講座(冬季休業期間) 5回を予定通り実施
学力向上対策推進事業 【学力定着指導員配置】	学校経営や児童・生徒の学力向上等教育政策課題の解決に向けた取り組みに関して指導、助言を行いました。 ◆学力定着指導員 9人(令和5年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【教科指導専門員配置】	児童・生徒の基礎学力定着に不可欠である教員の指導力向上を目的として、経験豊富で教科指導に秀でた専門員が小・中学校を巡回し、指導・助言を行いました。 ◆教科指導専門員 小学校44人 中学校30人(令和5年3月31日現在)

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>学力向上対策推進事業 【小中連携事業】</p>	<p>小学校から中学校への円滑な移行と児童・生徒の学力定着のために、各中学校区を単位とした連携校が授業研究や交流活動などに取り組みました。</p> <p>◆実施校 全小・中学校 (1)外部講師招聘校数 27校(103校中) (2)外部講師招聘グループ数 21グループ(35グループ中) (3)外部講師招聘活動延べ回数 37回</p>
<p>学力向上対策推進事業 【英語チャレンジ講座】</p>	<p>中学1年生前期で英語への苦手意識が生じ始めた生徒のつまずきと苦手意識の早期解消を目的として、民間教育事業者を活用した、日本人・外国人講師による補習を行いました。</p> <p>◆参加登録者 416人 ◆全8回:各校日本人レッスン5回、外国人レッスン3回(50分×2コマ=100分/1回)実施 ◆実施校数 中学校全35校</p>
<p>学力向上対策推進事業 【英語マスター講座】</p>	<p>一定レベル以上の英語力があり、かつ英語を学ぶことへの強い興味・関心と、自らの英語力向上への高い意欲を有する中学生を対象に、オンライン英会話を活用して英語4技能(「聞く・読む・話す・書く」力)を伸ばすための委託事業を実施しました。</p> <p>また、講座終了後には力試しを目的として福島県のブリティッシュヒルズで2泊3日の国内プチ留学体験を実施しました。</p> <p>◆講座参加生徒 79人 ◆月・水・金曜日の3コースを設定 ◆各コース31回実施 ◆国内プチ留学体験参加生徒 55人</p>
<p>学力向上対策推進事業 【英語4技能調査実施】</p>	<p>新学習指導要領において、バランスよく育成することが求められる英語4技能(聞く・読む・話す・書く)を適切に評価するため、4技能調査を実施し、英語の力を身に付けるための授業改善に役立てました。</p> <p>◆実施校 区内中学校35校 ◆受検者 中学2年生3,940人</p>
<p>学力向上対策推進事業 【英語教材作成支援システム】</p>	<p>教員が質の高い教材を効率的に作成できるように、NHK「基礎英語」「ラジオ英会話」で使用された対話文や音声を利用して教材を作成するシステムを導入し、授業等で活用しました。</p> <p>◆実施校 中学校全35校</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>学力向上対策推進事業 【大学連携事業】</p>	<p>教員の指導力向上および児童・生徒の英語力向上とその英語力の発揮に向け、明海大学との協定に基づく連携事業を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大学教授による中学校授業改善支援(公開研究授業 11/18、11/29、12/9、12/16 参加教員9人) ◆大学教授による英語教育アドバイザーの育成支援(2/22全体研修、個別指導6回) ◆大学教授による小学校若手教員の授業研究会における指導・講評(1/6参加者7人) ◆大学教授による区民対象英会話講座(第2クール10/9、10/16、10/30、11/3、11/27 受講者20人、ボランティア学生 延べ26人) ◆留学生が中学校を訪問し、中学生と交流する交流学習事業の実施(3校 10/17、12/14、12/19 生徒395人、留学生延べ22人) ◆小学生が大学を訪問し留学生たちと交流する明海大学あけみ英語村(1校 児童56人、留学生16人、教職学生34人) ◆日本語指導のための教員研修(12/9 参加者5人) ◆英語マスター講座修了生を対象としたスピーチ・プレゼンコンテスト(参加者7人)
<p>学校の指導事務 【授業目的公衆送信補償金制度】</p>	<p>授業目的公衆送信補償金制度(※)に基づき、ICTを活用した教育を推進するため、その費用を支出しました。</p> <p>※ 教員が他人の著作物を用いて作成した教材を生徒の端末に送信するなど、授業の過程で利用するために必要な公衆送信について、区が補償金を支払うことで個別に著作権者等の許諾を得ずに行うことの出来る制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象 区立小・中学校 全校児童・生徒分
<p>学校の指導事務 【日本語適応指導講師】</p>	<p>外国籍等児童・生徒への対応のため、主に小学校へ日本語適応指導講師を派遣し、日本語の習得を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和4年度指導実績 小学生 51校 143人、中学生 6校 8人(3月末現在)
<p>学校の指導事務 【あだち日本語学習ルーム】</p>	<p>外国籍等の中学生への対応のため、あだち日本語学習ルーム(通級)において、日本語の習得を支援しました。区の東部地域からも通室しやすくなるよう、令和4年11月に第十二中学校内に分室を開設しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和4年度指導実績 中学生 21校、38人(3月末現在)
<p>学校の指導事務 【弁護士委任】</p>	<p>主に学校で発生した事故等の対応のため、弁護士委任契約を締結し、相談や訴訟対応等を行いました。</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>学校教育充実事務 【デジタル教科書実証事業】</p>	<p>本格的なデジタル教科書活用に向けた実証のため、文科省より試験的にデジタル教科書の提供を受けるとともに、一部の学校で国からの提供対象外となる2科目目(理系科目)の費用を区が負担しました。国のアンケートの他、区独自のアンケートも実施し、教育効果を検証しました。</p> <p>◆対象 小学校:5年生から6年生 ※ 千寿小学校のみ重点校指定を受けているため1~4年生も対象 中学校:1年生から3年生</p> <p>◆対象科目 英語:全小・中学校で実施 算数・数学:小学校52校、中学校15校 理科:小学校16校、中学校20校</p>
<p>学校教育充実事務 【よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート調査事業】</p>	<p>よりよい学校生活と友達づくりのために、学級集団の状況に関する児童・生徒への実態調査をWEB上で行い、調査結果から児童・生徒の潜在的な不満・不安を把握し、課題に速やかに対応するよう努めました(年度内2回のうち下半期は1回実施)。</p> <p>◆実施校 全小・中学校(小学校68校、中学校35校) ◆実施対象 小学3年生から中学3年生まで</p>
<p>学校教育充実事務 【生命(いのち)の安全教育事業】</p>	<p>文科省のプログラムを活用して、中学生段階における「性犯罪や不幸な妊娠」の回避をゴールに、小学校低学年から「プライベートゾーン」や「他者との良好な関係と適度な距離感」などを発達段階に応じて学んでいく、生命(いのち)の安全教育のモデル授業を実施しました。下半期には令和4年度のモデル実施の結果を踏まえ、令和5年度からの全校実施に向けた教員向けの啓発リーフレットを作成しました。</p> <p>◆対象(小・中各1校モデル実施) 中島根小学校2・5年生 第十中学校2年生</p>
<p>育英資金事業</p>	<p>育英資金緊急対策(新型コロナウイルス感染症関連)で「返済猶予」「特別貸付」「免除条件付緊急貸付」の募集を行い、利用者を決定しました。なお、募集期間は4月1日から12月15日まで(報告は下半期分の実績のみ)。</p> <p>◆返済猶予 5人 ◆特別貸付 4人 ◆免除条件付緊急貸付 4人</p> <p>育英資金給付の募集を行っています(募集期間は1月4日から4月14日まで)。 ◆募集人数 40人</p> <p>奨学金返済支援助成の募集を行い、利用者を決定しました(募集期間は8月1日から12月15日まで)。 ◆応募人数 高校分 12人 大学分 50人 ◆採用人数 高校分 10人 大学分 50人</p> <p>就学援助の準要保護世帯として認定されており、高等学校等へ進学が決定している中学校3年生の保護者へ、高等学校等入学準備助成金を支給しました。 ◆支給件数 1,358件</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>小・中学校給食業務運営事業 【おいしい給食の推進】</p>	<p>「こんな給食あったらいいな。私たちが食べたいメニューはこれ！」(区制90周年特別企画)をテーマとし、給食メニューコンクールを実施しました。 ◆応募総数 小学校4,082作品 中学校3,139作品 計 7,221作品</p> <p>区制90周年事業「おいしい給食フェア」 ◆開催期間 11月12日～13日 ◆開催場所 アリオ西新井イベント広場 ◆来場者 12日 1,600人 13日 1,850人 計3,450人</p> <p>児童・生徒の食に関する意識や、食べる意欲の向上を図るため、小中学校全校で普段より給食の時間の確保や食育に取り組む「もりもり給食ウィーク」を実施しました。 ◆実施期間 1月23日～27日</p>
<p>自然教室事業</p>	<p>小学5・6年生と中学1・2年生を対象に、自然や地域文化に親しみ、様々な体験をする自然教室を2泊3日で実施しました。 ◆鋸南自然教室(小学5年生) 23校実施 ◆日光自然教室(小学6年生) 25校実施 ◆魚沼自然教室(中学2年生) 1校実施 ◆魚沼自然教室(中学1年生) 21校実施</p>
<p>放課後子ども教室推進事業</p>	<p>地域の方々の協力により、小学校施設(校庭や教室など)を活用し、児童の放課後の安全安心な居場所を提供しました。 ◆実施校 小学校68校 ◆延実施日数 5,493日(時期及び期間は各校による。) ◆延参加人数 206,665人 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた放課後子ども教室も含め、全小学校で事業を再開しました。</p>
<p>学校図書館地域開放事業</p>	<p>子どもが本と出会える場所として、令和4年7月2日から乳幼児、小学生とその保護者を対象に、綾瀬小学校の学校図書館を開放しています。 ◆事業名: わくわくにこにこ 図書の森 ◆開館日数(10月から3月): 54日 ※ 土・日・祝及び春休み期間(3/25～3/31)のみ開放 ◆累計利用者数(10月から3月): 1,858人 ◆累計貸出冊数(10月から3月): 2,385冊</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>幼児教育推進事業・家庭教育推進事務</p>	<p>◆幼児教育研修 教育・保育の質の向上のため、区内保育従事者、小学校教員を対象とした研修(一部オンデマンド)を実施しました。 【実施回数】 55回 【参加者延べ】 2,890人</p> <p>◆幼保小連携活動 子どもたちの円滑な小学校への就学及び教員・保育者間の相互理解に向けて、就学前施設と小学校間での職員交流研修を実施しました。 また、新型コロナウイルスの影響で近年実施できていなかった体験給食も実施しました。 教員・保育者向けの接続期教育研修については、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンデマンド配信にて実施しました。</p> <p>◆家庭への啓発活動 生命(いのち)の安全教育に関するリーフレットを発行し、就学前施設に在籍する3～5歳児の保護者に配付しました。</p> <p>「早寝・早起き・朝ごはん」を推進するとともに、保育園、幼稚園等の保護者の子育て学習、交流等の仲間づくり活動の支援や、毎月の家族ふれあいの日(ふれあい親子入浴・ふれあい親子ポウリング等)の取り組みを行うことで、家庭教育の充実を図りました。</p> <p>◆「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダー配布(年間) 156園(区立保育園・こども園、私立保育園、私立幼稚園、認証保育園)</p> <p>◆子育て仲間づくり活動(年間) 参加団体 10団体 参加者 947人</p> <p>◆家族ふれあいの日(年間) 利用者 延べ65,040人</p>
<p>発達支援児に対する事業の推進</p>	<p>教育・保育施設等から小学校・中学校までスムーズな情報の引継ぎを目指します。</p> <p>◆相談しやすい窓口 ・相談受理件数 718件 ・子育てサロンでの早期支援 2か所4回実施 延べ45組(95人)参加</p> <p>◆特性に応じた支援の充実 ・未就学機関への訪問支援回数 6回 ・小、中学校への訪問支援回数 27回(小学校21回、中学校6回)</p>
<p>不登校対策支援事業</p>	<p>各学校における不登校児童・生徒への取り組みを支援するため、登校サポーターを派遣し、家庭へのお迎えや学校での別室登校の対応を行いました。</p> <p>◆登校サポーター(下半期新規) 23人 ◆対象児童・生徒(下半期新規) 192人</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
子どもへの多様な体験機会の充実	<p>区内大学と連携して、未就学児、小中学生と大学生との交流や学習意欲向上を図る体験活動を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ふれあい動物教室(小) 15校 1,901人参加 ◆夢の体験教室(小) 68人参加 ◆0からEnglish(小) 37人参加 ◆体験！一日大学生(中) 34人参加 ◆のびのびプレイデイ(未) 118人参加 ◆音楽教育支援活動(小・中) 延べ59校 6,642人参加(年間) <p>小・中学生を対象に、日本の伝統文化に触れながら、学習意欲向上を図る体験イベントを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「あだち子ども将棋大会(小)」1回 108人参加 ◆「あだち子ども百人一首大会(小・中)」1回 (小)72人参加 (中)69人参加
待機児童ゼロの継続と教育・保育の質の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆保育士等住居借上げ支援事業補助金 保育事業者が保育士等の職員用宿舎として住居を借上げた場合に、借上げに要した費用の一部を補助しました。(682人) ◆保育士奨学金返済支援事業補助金 区内の保育施設等に勤務する常勤保育士を対象に、保育士養成施設等の就学・修業時に利用した奨学金について、返済に要した費用の一部(補助限度額10万円/年度)を補助しました。(172人) ◆保育従事者永年勤続褒賞 成績優秀な永年勤続者(保育士5年・10年、家庭的保育者10年・20年)に対し褒賞を行い、保育従事者の意欲向上、保育事業に対する社会的評価の向上に努めました。 【褒賞対象者】 保育士 5年90人 10年32人 家庭的保育者 10年10人 20年 3人 ※新型コロナウイルス感染症の影響で褒賞授与式は中止 ◆就学前教育・保育施設への指導検査 令和4年度実施計画に基づき、就学前教育・保育施設の指導検査を実施しました。(142施設)
養育困難改善事業(児童虐待対策等)	<p>要保護児童の早期発見・支援のネットワーク会議や講座を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆要保護児童対策地域協議会(地区連絡会議) 495か所送付(書面開催) ◆子育て交流講座(完璧な親なんていない) 参加者 17人 ◆イライラしない子育て講座 参加者 58人
区制90周年記念企画 「園児が選ぶ！我が園のおいしい給食」	<ul style="list-style-type: none"> ◆区制90周年の記念に、給食により親しみと関心を持ち食べる意欲を育てることを目的として、各園で園児が選んだ給食を食べる企画を実施しました(区立園30園、私立園9園)。 ◆実施した各園の献立を区ホームページ等に公開し、レシピも紹介しました。

令和4年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
幼稚園地域子ども・子育て支援事業(多様な集団活動の利用支援事業)	小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業を利用する幼児にかかる利用料に対し、補助金を支給しました。 ◆対象者数 11人 補助額 20,000円/月上限
保育園の運営事務／公立保育園の施設維持管理委託事業(アスベスト含有分析調査)	区立保育園の改修工事において義務付けられた「アスベスト含有分析調査」を実施しました。 ◆実施数 5か所(上半期7か所)

令和4年度下半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内容
若年者向け相談支援窓口委託	<p>学校や仕事の悩み、メンタルヘルスの不調を抱えている若者に対して、精神科医や精神保健福祉士などの専門スタッフが早期に介入し、相談・支援をワンストップで行う総合相談窓口「あだち若者サポートテラス(SODA)」を開設しました。</p> <p>◆利用者数 延べ103人(令和4年10月1日～令和5年3月31日)</p>
あだち子どもの未来応援活動助成金	<p>あだち子どもの未来応援基金を活用し、フードパントリー運営団体を支援するため、あだち子どもの未来応援活動助成金の交付を決定しました。</p> <p>◆交付決定事業数 4事業</p>
児童養護施設等退所時自立支援事業	<p>児童養護施設等(里親、自立援助ホーム含む)から巣立ち、進学・就職して一人暮らしを始める際の生活用品など、費用の一部を支度金として給付しました。</p> <p>◆支給決定人数 7人</p>
ビューティフル・ウィンドウズ運動(地域防犯力の向上・防犯まちづくり事業) 【防犯パトロール事業】	<p>上半期に引き続き、「見せる防犯」の強化を図るため、青色パトによる区内防犯パトロールの昼間の運行台数を常時4台で実施しました。</p> <p>◆365日24時間体制で実施</p> <p>①午前6時～午後2時 3台→4台 ②午後2時～午後10時 3台→4台 ③午後10時～午前6時 4台</p> <p>刑法犯認知件数の増加に対する緊急対策として、令和4年11月21日から12月31日までの間、区内主要駅及び周辺駐輪場、大型商業施設駐輪場、無人ATMを中心に防犯徒歩パトロールを実施しました。</p> <p>◆午前7時から午後11時まで毎日(土日、祝日、年末含む)実施</p>
ビューティフル・ウィンドウズ運動(地域防犯力の向上・防犯まちづくり事業) 【自転車盗対策事業】	<p>上半期に引き続き、自転車盗対策として、以下の事業を実施しました。</p> <p>◆自転車盗対策のポスター、チラシ、標語短冊シールを集合住宅の駐輪場などにて配布</p> <p>◆区内各警察署から前日の自転車盗難発生場所の情報提供をもとに、青パト防犯パトロールによる鍵かけの広報活動を実施</p> <p>◆区内各警察署と連携し、盗難多発地域における「警告札」の取付を推進</p>
ビューティフル・ウィンドウズ運動(地域防犯力の向上・防犯まちづくり事業) 【特殊詐欺対策事業】	<p>特殊詐欺対策として、以下の事業を実施しました。</p> <p>◆上半期に引き続き、自動通話録音機の無償貸与を行うとともに、あだち広報9月25日号において、「アポ電体験ダイヤル」を含む特殊詐欺対策として幅広く周知</p> <p>◆携帯電話抑止装置の設置場所を新規追加</p> <p>◆上半期に引き続き、有名声優を起用した防災行政無線で注意喚起を実施</p>
ジェネリック医薬品普及事業	<p>ジェネリック医薬品に替えた場合の差額をお知らせする通知を令和4年10月と令和5年2月の2回送付しました。</p> <p>◆ジェネリック医薬品差額通知送付経費930千円</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内容
<p>孤立ゼロプロジェクト推進事業</p>	<p>地域における見守り活動を推進し、区民が社会的孤立状態になることを防止するための取組みを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者実態調査 <ul style="list-style-type: none"> ・調査実施団体数： 17団体 ・調査実施世帯数：1,053世帯 ・うち地域社会や支援につながった世帯数：129世帯 ◆わがまちの孤立ゼロプロジェクト(自主的な見守り活動) <ul style="list-style-type: none"> ・登録団体数：105団体(令和4年度末現在。下半期：新規登録1団体、辞退0団体)
<p>地域包括ケアシステムの推進</p>	<p>「地域包括ケアシステムビジョン」に基づき、団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、高齢者が安心して可能な限り住み慣れた地域での生活を続けることができるよう「足立区版地域包括ケアシステム」の構築に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者実態把握訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問人数：25,981人 ◆認知症早期発見のための訪問支援 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問人数：677人 ◆多職種連携研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：5回(全5ブロック各1回) ・参加職種と人数：9団体263人 ◆あだちお部屋さがしサポート事業に関連した単身高齢者の住宅確保に向けた費用助成 <ul style="list-style-type: none"> ・家賃債務保証：6件 ・少額短期保険：9件 ・見守りサービス：10件

令和4年度下半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内容
介護予防事業	<p>高齢者の健康寿命の延伸を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しながら、様々な介護予防事業に取り組みました。※パークで筋トレ、ウォーキング教室以外の事業は7月16日から9月7日まで、新型コロナウイルス感染症第7波の影響で中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆はつらつ教室(教室型) 室内で体操や健康体力づくりなどの教室を開催しました。 ・会場:17か所 回数:191回 参加者:163人 ◆はつらつ教室(プール型) 水中ウォーキングをメインとした健康体力づくりなどの教室を開催しました。 ・会場:2か所 回数:32回 参加者:60人 ◆パークで筋トレ 専門指導員の指導のもと、公園や広場を利用して、安全・気軽に健康体力づくりができる教室を開催しました。 ・会場:36か所 回数:427回 参加者:13,883人 ◆ウォーキング教室 歩き方の基礎を学んだり、区内外のコースを気軽に歩きながら健康体力の維持・向上を目指す教室を開催しました。 ・コース:12コース 回数:36回 参加者:451人 ◆はじめてのフレイル予防教室 介護予防チェックリストの結果、何らかの支援が必要と判定された方に対して、体力測定、筋力アップ、口腔・栄養指導などの講座(1クール=全12回実施)を開催しました。 ・会場:25か所 回数:29クール 参加者:324人 ◆みんなで元気アップ教室 自主グループ立上げを目的とした教室(1クール=全10回)を開催しました。 コロナ禍の中止により、一部教室を全9回にて実施しました。 ・会場:26か所 回数:28クール 参加者:311人 ◆元気アップサポーター養成研修 グループ立上げや運営に興味がある方向けに、グループ活動継続のコツを学ぶ教室(1クール=全8回)を開催しました。 ・会場:10か所 回数:10クール 参加者:90人 ◆体力測定会 自分の健康状態を気軽に知ることを目指し、自主的な介護予防活動のチェックができる測定会を実施しました。 ・会場:16か所 回数:87回 参加者:267人
生活困窮者自立支援事業	<p>生活に困っている方からの様々な相談をお受けし、一緒に解決方法を探しました。また、複数の相談を1箇所でお受けするために、弁護士等の専門家を招いた出張総合相談会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆くらしとしごとの相談センター相談受付件数 2,557件(電話対応を含む。) ◆出張総合相談会 開催日数 17日 相談受付件数 227件 ◆就労に向けた準備を整えることを目的とした就労準備支援(委託) 利用者 63人 ◆主に中学生を対象に、安心して過ごせる居場所の提供とマンツーマンによる学習支援(委託) 施設数 6箇所 (拠点施設4箇所、ランチ(分室)2箇所) 登録者 356人

令和4年度下半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内容
感染症対策の充実	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、以下の事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆医療提供体制支援として、足立保健所からの要請に応じてPCR検査を実施する協力医療機関の医療従事者への危険手当、入院を要する疑い患者用病床確保支援、入院を要する疑い患者に対応する医療従事者への危険手当を支給 実績: 11医療機関/1,304件(PCR検査実施件数) ◆陽性者に対して迅速な対応を可能にするため、ショートメールを活用して病状等を確認 実績: 5,960件 ◆足立区発熱電話相談センターを設置し、派遣職員(保健師・看護師)にて新型コロナウイルス感染症に係る電話相談を実施 実績: 13,073件 ◆足立区PCR検査予約専用ダイヤルを設置し、区職員及び派遣職員にてPCR検査に係る電話相談を実施 実績: 1,957件
データヘルス推進事業	<p>データヘルス推進課が集約している健康データを活用して、出生時から年長までの成長記録をまとめたリーフレット「あだちっ子の成長の記録」を作成し、配付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆配付人数 500人 ※ 令和5年3月に、公設民営保育園を除く区立保育園・区立認定こども園全園(30園)を卒園する児童のうち、希望した方 ◆配付時期 令和5年3月上旬 <p>日本コンピューター株式会社と協定を締結して実施した健康データの分析結果を関係所管に提供し、健康づくり事業の活用に向けた検討を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆分析内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診の受診傾向とメタボリックシンドロームの要因等 ・ 後期高齢者医療健診、歯科健診結果を活用した区民の健康状態の把握
健康あだち21推進事業 (糖尿病対策)	<ul style="list-style-type: none"> ◆あだちベジタベライフ協力店掲示物メンテナンス委託の実施(190店舗) ◆第8回子どもの健康・生活実態調査の実施(有効回答数 中2: 3,233人) ◆ベジチェック(推定野菜摂取量の測定)を活用した啓発(10月～3月) 【測定者数】2,833人 【利用事業】元気な職場づくり応援事業(健康経営)、40歳前の健康づくり健診、11月糖尿病月間などのイベント ◆元気な職場づくり応援事業(健康経営)新規事業所の選定(5事業所) ◆11月糖尿病月間 【テーマ】見つけよう あなたのベジ × ○○ 糖尿病の予防と周知を目指し、自ずと野菜を食べられるような環境の提供と、自身の身体の健康リスクに関する「気づき」から「行動」へ繋がるような企画を実施。 ・「自分で選択! ベジ × ○○」: 野菜から食べ始めることに加え、糖尿病の予防になることに取り組み応募。応募数: 944人、抽選で14人に健康グッズ等を贈呈。 ・カラダ測定会: 体組成や推定野菜摂取量、薬局でのヘモグロビンA1C値測定など、延べ1,987人。 ・スポーツ振興課と連携: 「ONE DAY ウォーキング」での測定会を企画(雨天中止) ・スーパーやコンビニでポスターやPRポップの掲示。 ・区の健診事業や「糖尿病危険度チェック(メディカル指南車)」の紹介。 ◆食習慣調査の実施: 20歳～60歳未満1,000人に調査票を郵送 回答者305人

令和4年度下半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内容
<p>こころといのちの相談支援事業</p>	<p>◆ゲートキーパー研修の実施(10月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー研修(初級) 【対象者】区職員、民生委員、関係機関職員等 【延べ参加者】215人 ・ゲートキーパー研修(中級) 【対象者】区職員、民生委員 【延べ参加者】168人 ・ゲートキーパー研修(上級) 【対象者】区職員、民生委員、関係機関職員等 【延べ参加者】64人 <p>◆小・中学校特別授業「SOSの出し方教育」の実施(10月～3月) (DVDを活用した教員による授業実施と保健師の授業実施の2方式) 【教員実施校】4校 計366人 【保健師出張校】13校 計1,382人</p> <p>◆インターネット・ゲートキーパー事業の実施(10月～3月) 【キーワード検索件数】28,607回 【ホームページクリック数】2,209回 【相談者】55人</p>
<p>大学病院整備の支援事業</p>	<p>令和5年2月28日に足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会を開催し、先進高額医療機器の導入に係る事業に対する補助金の交付を決定しました。その後、審査会からの答申を受け、事業者からの請求に基づいて5億円の補助金交付を令和5年3月に行いました。</p>
<p>ビューティフル・ウィンドウズ運動【美化推進事業、ごみ屋敷、不法投棄、落書き、放置自転車対策】</p>	<p>【清掃美化活動】 町会・自治会等団体での活動を継続していくとともに、個人向けの「ソロクリーン活動」を拡充しました。</p> <p>◆「ソロクリーン活動」登録者 391人(令和4年度末時点)</p> <p>【花いっぱい運動】 花店等と協力し花のビュー坊プレートを配布することで、花のあるまちかど事業をPRしました。</p> <p>◆花のあるまちかど事業参加団体数 294団体</p> <p>【迷惑喫煙対策】 駅周辺のパトロールを臨機応変かつ効果的に行い、喫煙ルールの周知とマナー向上をPRしました。</p> <p>◆条例違反による過料適用件数(下半期) 410件</p> <p>【ごみ屋敷対策】 樹木等含む81件の相談を受け、88件(継続対応分含む)を解決しました(令和4年度累計相談件数120件、累計解決件数127件)。</p> <p>【不法投棄対策】 不法投棄処理個数は3,741個(前年同月比217個増、6.15%増)、不法投棄通報協力員の累積登録者数は4,441人、民有地の不法投棄対応支援を34件実施しました。</p> <p>【落書き対策】 通報・発見件数129件(10月～3月)に対し、107件(継続対応分含む)の消去対応を行いました。</p> <p>【放置自転車対策】 区内4か所の移送所と9か所の自転車駐車場で「不用自転車の無料引き取り事業」を実施し、3,443台の持ち込みがありました。</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【くらし】

事業名	内容
<p>エネルギー対策の推進 【温室効果ガス排出削減】</p>	<p>省エネ活動や再生可能エネルギーの活用を促進し、地球にやさしい低炭素社会を実現するため、各種補助を行いました。</p> <p><補助件数></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆太陽光発電システム設置費補助金 交付決定件数 66件 金額 14,840,000円 ◆太陽熱利用システム設置費補助金 交付決定件数 0件 金額 0円 ◆集合住宅・事業所等LED照明設置費補助金 交付決定件数 78件 金額 16,295,000円 ◆省エネリフォーム補助金 交付決定件数 172件 金額 8,486,000円 ◆蓄電池・HEMS設置費補助金 交付決定件数 91件 金額 4,550,000円 ◆雨水タンク設置費補助金 交付決定件数 3件 金額 37,000円 ◆節湯型シャワーヘッド購入費補助費補助金 交付決定件数 184件 金額 552,000円 ◆家庭用燃料電池システム設置費補助金 交付決定件数 35件 金額 1,750,000円 ◆電気自動車等購入費補助金 交付決定件数 52件 金額 4,960,000円 ◆電気自動車等用充電設備費補助金 交付決定件数 0件 金額 0円 ◆戸建住宅向け電気自動車等用充電設備費補助金 交付決定件数 15件 金額 375,000円 ◆低公害車買換え支援事業利子補給等 交付決定件数 0件 金額 0円 ◆再エネ100電力導入サポートプラン協力金 交付決定件数 198件 金額 3,960,000円 ◆エアコン購入費補助金 交付決定件数 67件 金額 4,666,000円
<p>ごみの減量・資源化の推進</p>	<p>安全対策や感染リスク対策を十分に行い、資源の行政回収を安定的に継続しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆行政回収量18,528t（前年度比503t減） <p>ごみの減量に向けて、生ごみ処理機等への購入費補助および食品ロス削減啓発のパネル展を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生ごみ処理機・コンポスト化容器の購入費に対する補助 交付決定件数 93件 金額 1,083,800円 ◆食品ロス削減に向けた「環境パネル展」の図書館や家電量販店等での実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 区立図書館(15館) 実施日 10月1日～30日 ・ ケーズデンキ足立店 実施日 10月4日～10日 ・ ケーズデンキ足立一ツ家店 実施日 10月11日～17日 ・ エル・ソフィア(くらしフェスタ) 実施日 10月19日～25日

令和4年度下半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内容
地域と一体となった水害対策 【「想定浸水深」表示設置】	想定浸水深表示を設置することにより、水害リスクを「見える化」し、区民の水害対策意識の向上に努めました。(第二次避難所10か所、警察署1か所) ◆設置数 11か所
震災に対する防災力向上事業(防災訓練・防災計画) 【震災時避難所運営手順書作成】	震災時における避難所の開設・運営に必要な手順等を明記した『震災時避難所運営手順書』を作成しました。 ◆作成部数 12,100部
災害備蓄の管理運営事業 【避難所備蓄用エアーマットの増配備】	避難所生活が長期化した際の避難者の健康面への影響を考慮し、現行のマットからエアーマットへ入れ替えを実施しました。 ◆配備数 60,000個
ワーク・ライフ・バランスの推進事業	多くの区内中小企業が取り組めるよう分野別認定を取り入れた足立区独自の「ワーク・ライフ・バランス推進企業」認定制度において、新規に認定された企業等に対して、認定式を実施しました。 ◆認定式:12月8日 ◆認定企業数:新規24社、ランクアップ3社、更新62社 ◆令和4年12月1日時点の認定企業総数:134社
中小企業融資事業	区内事業者が必要な事業資金を円滑に調達できるよう、融資のあっせんを行うとともに、経費負担の軽減として利子補給および信用保証料の一部補助を行いました。 【下半期実績】 ◆あっせん件数 2,300件 ◆あっせん金額 20,611,600千円
創業支援事業 【産学金公ネットワークによる起業・創業支援】	創業者の増加や地元定着を図るため、各種セミナーや補助金、創業支援施設の運営等による支援を行いました。 [起業家支援塾] ①ステップアッププログラム ◆実施日 10月13日～2月9日の第2木曜日 ◆受講者 7人 ②実践編 ◆実施日 1月14日～3月11日の毎週土曜日 ◆受講者 21人 [空き店舗マッチング支援事業] ◆募集期限 12月16日まで ◆応募件数 3件 ◆マッチング件数 0件 [創業支援施設入居状況 3月31日現在] ◆「かがやき」10室中8室 ◆「かけはし」14室中13室・12ブース中2ブース

令和4年度下半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内容
<p>就労支援・雇用安定化事業 【区内企業の人材確保支援等】</p>	<p>区内企業向け支援や助成、求職者向けの就労支援を行いました。 ＜実施期間：10月～3月＞</p> <p>【区内中小企業人材確保支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆シニア人材登録者数／登録企業数 90人／120社（4年度累計） ◆シニア人材マッチング成約数 39件 ◆企業向けセミナー実施回数 若者向け 2回 経営者・管理職者向け 2回 <p>【産業技術・経営研修会助成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆助成件数 120件 <p>【就業規則作成助成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆助成件数 17件 <p>【マンスリー就職面接会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数 7回
<p>足立ブランド認定推進事業</p>	<p>区内で製造される優れた製品や巧みな技術を提供する企業等を「足立ブランド」として認定。区内外にその製品をPRし、区のイメージアップを図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆認定企業 65社（新規認定3社含む） ◆東京インターナショナルギフトショー【町工場NOW】（見本市）への出展 【実施日】2月15日～17日 【会場】東京ビッグサイト 【出展事業社数】13社 ◆オンライン商談会の実施 【実施日】3月3日～5日 【参加企業】3社
<p>販路拡大支援事業（区内産業・製品のPR）</p>	<p>〔国内・海外販路拡大支援〕 区内事業者の販路拡大支援の一環で、展示会やテストマーケティングへの出展、バイヤーマッチング支援を行いました。</p> <p>＜国内販路＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆バイヤーマッチング：参加事業者10社 ◆ベータ有楽町での展示販売イベント：参加事業者11社 ◆その他課題別セミナー、個別サポートを実施 <p>＜海外販路＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆シンガポールでの展示会：参加事業者5社 ◆香港での展示会：参加事業者7社 ◆香港でのテストマーケティング：参加事業者6社 <p>〔ECモール出店支援〕 ECモールへの出店に向けた伴走型支援を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆支援事業者 5社 ◆支援期間 11月～3月 <p>〔相談業務強化による支援〕 新設した事業者なんでも相談員とウェブ活用アドバイザーの相談支援を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆相談対応数 事業者なんでも相談員：76件 ウェブ活用アドバイザー：93件

令和4年度下半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内容
<p>自然環境・生物多様性の理解促進事業</p>	<p>◆船上から野鳥や水生生物を観察し、荒川の自然や歴史について学ぶ「あらかわボートクルーズ」を開催しました。 実施日 10月15日、16日 参加者 176人 ◆舎人公園で、野鳥の生態や都市緑地、水辺の役割について学ぶ「野鳥観察会」を開催しました。 実施日 12月4日 参加者 35人 ◆区内の7河川 9地点において、魚類等生物調査を実施しました。 実施期間 7～10月 調査結果 合計7目11科31種の魚類を確認 ・重要種(環境省RLなどの該当種)は9魚種 ・国外外来種は7魚種(このうち4魚種は特定外来生物)</p>
<p>景観形成の推進事業</p>	<p>◆足立区独自に重要な景観資源を「足立・まちの風景資産」として選定していくしくみづくりを行いました。 ※ 景観研修会、景観まち歩き、パネル展示等は新型コロナウイルス感染防止により中止</p>
<p>水害対策事業 【ドローン操縦者育成】</p>	<p>ドローン操縦技術の向上ため、操縦資格を有する職員を対象とした訓練を実施しました。 ◆参加者 12人 ◆実施回数 12回 庁内関係部署と連携し、区主催のイベント等で広報動画、記録動画の空撮を実施しました。 ◆実施回数 14回</p>
<p>交通環境の改善事業(都市計画道路及びバス・自転車走行環境の整備)</p>	<p>◆区画街路第15号線(北綾瀬駅前交通広場)の交通広場及びペDESTリアンデッキ整備工事に着手しました。 ◆綾瀬駅東口駅前交通広場整備の詳細設計を引き続き行いました。 ◆補助第256号線整備の用地取得を引き続き行うとともに、取得した用地を歩道として暫定開放するための工事を行いました。 ◆補助第138号線(環七南通り)その2工区電線共同溝整備工事を引き続き行いました。 ◆補助第138号線(環七南通り)江北地区の用地測量及び基本設計を引き続き行いました。 ◆補助第138号線(環七南通り)興野地区の基本設計を引き続き行いました。 ◆補助第255号線及び西新井公園の用地測量に着手しました。 ◆補助第255号線の基本設計に着手しました。 ◆花畑周辺地域を運行している社会実験バスについて、10月1日より、次の収支率向上策を実施しました。 ・シルバーパスの利用を不可とし、乗車割引証を導入しました(721枚交付 3月31日時点)。 ・利用実態に合わせた減便等のダイヤ改正を実施しました。 ◆社会実験バスの利用促進のため、3月24日、25日に回数券(価格1,000円、6枚綴、1,320円相当)を352セット販売しました。 ◆新型コロナウイルスの影響等を考慮し、社会実験バスの検証運行期間を令和6年3月まで半年延長することを決定しました。 ◆自転車走行環境を整備しました。 ・自転車ナビマーク 3,800m</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内容
鉄道立体化の促進事業 【竹ノ塚駅付近連続立体交差事業】	◆普通列車(竹ノ塚駅始発)の折返し機能である引上線の高架化工事や、踏切解消を行った箇所の交差道路整備や仮設ホームの撤去を行いました。 ◆区画街路第14号線関係では、令和3年度に引き続き、電線類の地中化工事を行いました。
道路台帳整備事業【中川堤防嵩上工事に伴う測量業務委託】	国土交通省が治水対策のため中川堤防のかさ上げ工事を行っています。工事の影響で変更となった堤防上区道の範囲を明確にするため、測量を行い管理図面等を作成しました。 ◆場所 六木二丁目10番から佐野一丁目13番まで ◆距離 約1.2km ◆内容 区道区域の確認・測量および道路台帳図面等の作成
違反広告物除却事業	区民との協働などによる違反広告物の除却作業を実施しました。 ◆違反広告物除却総件数 10,315件 ・違反広告物除却協力員による除却 2,627件 ・委託業者による除却 6,142件 ・その他 1,546件 ◆違反広告物除却協力員登録者 487人
公園等の整備事業	◆平野小学校農園跡地に、複合遊具をメインとした平野三丁目公園を整備しました。 ◆上沼田第二公園東エリアでは、児童に人気の遊具の設置や幅広い世代が安全に利用できる公園への改修工事を実施しました。 ◆上沼田東公園では、野球場の人工芝化、テニスコートのハードコート化、お花見が楽しめる芝生広場等の整備に着手しました。 ◆東六月体験農園プチテラス跡地に、四季を彩る植栽や多世代で楽しめる健康器具を配置した公園の整備に着手しました。
緑の普及啓発事業	区民を対象に、みどりのあそびば、みどりの学び場を実施しました。 ◆参加者数及び実施日(回数) みどりのあそびば ・サロン豆の木 29人(2回開催) ・募集定員制での実施 251人(3回開催) みどりの学び場 ・講座 39人(2回開催) ・剪定講習会 18人(2回開催) ・公園散策 29人(2回開催) ◆新型コロナの影響で中止となったもの ・梅まつり(2月25日開催予定) ・みどりのあそびば(2回開催予定)

令和4年度下半期に実施した主な事業【まち】

事業名	内容
<p>震災や火災などに強いまちづくりの推進</p>	<p>【密集市街地整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆防災生活道路の整備工事を実施しました。 ・道路整備工事 10件 ◆防災生活道路の用地買収を実施しました。 ・道路用地購入 10件 ◆不燃化特区内の老朽建築物を除却する者に対して除却費の一部を助成しました。 ・助成件数 108件 ◆不燃化特区内の老朽建築物を除却し、不燃建築物に建替える建築主に対して除却費及び設計・監理費の一部を助成しました。 ・助成件数 18件 <p>【不燃化促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆耐火建築物等以外の既存建築物を除却する者に対して除却費の一部を助成しました。また、準耐火以上の建築物を建設する者に対して建築費の一部を助成しました。 ・助成件数 5件 <p>【細街路整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆細街路の整備工事を実施しました。 ・細街路整備工事 57件 <p>【建築物耐震化促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆木造住宅の耐震診断助成申請件数 107件 ◆木造住宅の耐震改修工事等助成申請件数 98件 <p>【老朽家屋対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆老朽家屋等の危険解消件数 27件 <p>【無接道家屋対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆無接道家屋の建替え許可件数 12件 <p>【まちづくり推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆感震ブレーカー設置助成申請件数 68件
<p>空き家対策事業</p>	<p>空き家相談会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆区内各所で23回 本庁舎で6日間開催 ◆年間相談受付件数 81件

令和4年度下半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内容
行政評価事務	<ul style="list-style-type: none"> ◆区民評価委員会による評価活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により休止しました。 ◆上半期に実施した庁内評価委員会による評価結果に加え、区民評価委員からいただいた各事業に対する意見や提言等を各事業に反映させることで、PDCAサイクルによる事業改善を行いました。 ◆「足立区行政評価～PDCAサイクルの取組状況～」を作成し、区政資料室、中央図書館に配布するとともに、ホームページに掲載し、区民に公開しました。 ◆区民評価委員会活動実績(年間) 全4回
SDGs未来都市の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆「足立区SDGs未来都市計画」の中で掲げている2030年のあるべき姿「誰もが一步踏み出せるレジリエンスの高いまち」の実現に向け、綾瀬を舞台として「貧困の連鎖解消」と「区に対するマイナスイメージ払拭」に資するモデル事業に取り組み始めました。 1 アヤセ未来会議 「綾瀬をもっと愛される地域に」をコンセプトに、個人が街で“やってみたい”ことの実現に向けてアイデアを出し合い、実践するワークショップを開催しました。 (1)開催期間 令和4年11月～令和5年2月 全5回 (2)参加人数 1回につき参加20人 2 高架下No Border LAB 綾瀬駅西口高架下の20年近くシャッターが閉まっていた店舗を、地域の方々と綾瀬の新しい賑わい創出拠点として再生させる事業を実施するために、プロポーザル方式により運営事業者を選定しました。 (1)店舗賃借開始 令和5年2月上旬より (2)店舗オープン 令和5年秋予定 3 SDGs未来都市及びモデル事業推進ロゴ SDGsやモデル事業をより効果的に普及啓発していくために、区のSDGs推進のシンボルとなるロゴを作成しました。 4 SDGs未来都市特設サイト SDGs未来都市としての取組等をまとめた特設サイトを令和5年3月下旬にオープンしました。 5 ことりっふ綾瀬 SDGsの視点を織り交ぜながら、綾瀬の魅力なお店やスポット等を紹介する街歩きガイドブック「ことりっふ綾瀬」を作成しました。 (1)作成部数 20,000部 (2)配布場所 区役所本庁舎・区立図書館・駅等
ICTを活用した区民サービスおよび業務効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆オンライン申請システム 令和4年度末で300以上の手続きをオンライン化し、100,000件近い利用がありました。うち保育施設入所申請においては、全体の60%を超える方がオンラインを利用されました。 ◆RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)活用 保育施設入所に関連し、職員の入力作業においてRPAを活用し、入力の自動作業を導入しました。結果、約577時間の削減を実現しました。 ◆キャッシュレス決済サービス 令和5年2月から、戸籍住民課窓口でも多様な支払いニーズに対応できるように拡充しました。

令和4年度下半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内容
<p>広聴機会の充実と区政への反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆世論調査(小規模調査) 公募した約200人の区政モニターのみなさまに対して行っていた区政モニターアンケートから対象者を拡大した「世論調査(小規模調査)」を実施しました。調査結果は報告書としてまとめ、区のホームページにも掲載する予定です。 【調査テーマ】若い世代の「区の情報」に対する興味・関心・取得状況について 【対象者】区政モニター200人及び無作為抽出した区民500人 【実施期間】1月19日～2月10日 ◆区民の声 新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着きつつあるものの、「区民の声」自体は例年に比べて多い状況が続いており、2,771件の「区民の声」が寄せられました。 【区民の声の平均回答日数】4.4日(目標5.0日) 【区民の声満足度アンケート評価結果】68%(目標80%) ◆パブリックコメント 区民の生活に影響を及ぼす区の施策や計画などを策定する過程で、区民の意見を取り入れるため、下半期で7件のパブリックコメントを実施しました。 【いただいた意見の数】53件 ※ なお、いただいた意見に対する区の考え方は、区のホームページにも掲載する予定です。
<p>情報発信強化事業 【各種広報媒体の充実・情報発信力の向上等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆令和4年度東京都広報コンクールでは、全ての部門で入賞しました。 <最優秀> プロ野球ドラフト会議で一位指名を受けた足立区出身のブライト選手特集(一枚写真部門)(あだち広報令和4年1月1日号) <第二席> ① 区制90周年記念特別展「琳派の花園」特集(広報紙部門)(あだち広報令和4年10月10日号) ② 高架化により踏切が解消した竹の塚特集(組み写真部門)(あだち広報令和4年4月25日号) ③ 戦争を語り継ぐ広報番組 「1941-1945 -戦後77年- あだちの記憶を語り継ぐ」(映像部門) ◆足立区LINE公式アカウントでは、機能を複数拡張しました。 ① A-メールとの連携(希望ジャンル選択・受信) ② セグメント配信(ユーザー登録情報別の配信機能) ③ リッチメニュー(ホームページやアプリへの誘導ボタンのリニューアル) ④ チャットボット(自動応答機能) ⑤ 通報機能(道路・公園の不具合、不法投棄等の通報) ⑥ 入園検討支援(保育指数シミュレーション、保育施設検索) ◆3月1日に足立区公式ホームページの自動翻訳言語数を108言語から121言語に拡充しました。 ◆全庁職員の情報発信力強化のため、広告代理店から講師を招き、研修(二部制)を行いました。 参加職員数 延べ158人(第一部87人、第二部71人)

令和4年度下半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内容
大学連携コーディネーター事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆区内六大学(放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学、東京電機大学、文教大学)と連携事業を実施しました。 ① 計153事業において、延べ41,397人の参加 (令和4年度1年間の事業数、参加者数を計上) ◆「大学生地域活動プラットフォーム」では、区内企業31社の協力のもと、企業見学や学生と企業が協力し、廃棄予定のコーヒー豆の麻袋を再利用したバッグの開発など東京未来大学等の学生延べ128人が参加しました。 ◆区と大学による「あだちの大学リレーイベント企画」を3回開催しました。 ① 放送大学講座「これからの時代を生きる子どもを育てるヒント」 9月3日 59人 ② 東京未来大学講座「あそびと対話で育てよう 子どもの人間力」 10月30日 58人(25組) ③ 東京藝術大学講座「みんなで楽しむ音楽とダンス！音楽のしくみを探求しよう 藝大ムジタンツクラブ in きたせんじゅ」 1月29日 64人(32組)
シティプロモーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆広報物制作のスキルアップを目指したデザイン研修とロジック研修(担当業務の「目的」を認識してもらう)を区職員対象に実施しました。 ①デザイン研修 「カメラ研修」10月7日 12人 ②ロジック研修 アイデアを生み出す「成功チャート」の作り方 11月4日 78人 ◆区が制作する広報物延べ225件に対し、アドバイスをを行いました。 ◆アートプロジェクト「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の下記プログラムを実施しました。 ①文化サロン「仲町の家」を開館 10月1日～3月27日までの来場者 延べ5,399人 ②「1DAYパフォーマンス表現街」 11月6日 8,222人 ③「千住だじゃれ音楽祭」 10月29日、11月6日 延べ100人 ④「Memorial Rebirth 千住」 10月29日、11月6日、11月18日、3月20日、3月21日 延べ1,950人 ⑤「イミグレーション・ミュージアム・東京」 多国籍美術展「Cultural BYO…ね！」 12月3日～12月25日 延べ670人 ⑥「アート・エデュケーションプログラム」 11月18日～1月23日 延べ445人 ◆外部委託により、報道機関や区内外の住民等にヒアリングなどのリサーチを実施・分析し、令和5年度から本格実施する広報・メディア戦略を構築しました。 ◆Webプレスリリースサイトを活用し、区のプラスに寄与する情報を38件発信。約9万人が閲覧し、テレビや新聞、Webなど60件以上のメディアで取り上げられました。 ◆12月に区外在住者3,000人を対象として、区に対するイメージに関する調査を行いました(結果は6月下旬公開予定)。

令和4年度下半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内容
エリアデザインの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆竹の塚エリア 3月に竹の塚エリアデザイン「まちづくりの基本的な考え方」をまとめました。 ◆西新井・梅島エリア 12月に「西新井公園及び補助第255号線整備に伴う用地測量説明会」を開催しました。 【実施期間】12月13日～12月19日(計6回) 【参加者】延べ98人 ◆六町エリア 3月に「六町駅前区有地活用事業」に係る公募型プロポーザル方式による提案書特定結果を公表しました。
協働・協創推進体制の構築	<p>協創を推進していくため、交流会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子ども食堂やフードパントリーを運営する団体による交流会 (第2回)10月7日 7人 (第3回)1月27日 27人 ◆環境交流会 (第1回)3月16日 20人
町会・自治会、NPOの活性化支援	<p>【町会・自治会への支援】 単一の町会・自治会への運営助成を行ったほか、自主防災倉庫や掲示板の設置、会館整備(修繕)、地域活性化事業、活性化用物品購入に対して助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆町会・自治会運営助成(5件) 539千円 ◆自主防災倉庫設置費の助成(1件) 400千円 ◆掲示板設置費の助成(10件) 1,224千円 ◆会館整備・修繕費の助成(2件) 6,252千円 ◆コミュニティ助成事業(2件) 330千円 ◆地域活性化事業助成(1件) 404千円 ◆活性化用物品購入助成(20件) 1,558千円 ◆地区町会・自治会連合会運営助成(25件) 年間実績4,666千円 <p>【NPO活動への支援】 地域活動に関心のある方を対象に、区内NPO団体の事例紹介および活動体験を行う「あだち皆援隊講座」を10回実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆下半期講座参加者 延べ247人 (感染症防止対策のため、講座は対面とオンラインの併用または人数を制限して実施) <p>NPO活動の周知、啓発を図るため、「NPOフェスティバル」を3年ぶりに対面、かつ初めての試みとして、梅田地域の4拠点(エル・ソフィア、足立成和信用金庫中央支店、梅島公園、足立区NPO活動支援センター)の回遊型で開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆開催日 12月3日、12月4日 ◆参加団体数 63団体 ◆参加者数 約6,300人 ◆スタンプラリー抽選件数 4,159件 ◆景品協賛企業数 18社 ◆出展企業数 10社

令和4年度下半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内容						
組織能力の向上と組織風土の改善	<ul style="list-style-type: none"> ◆事故・ミス防止に向けて、係長以下の職員を対象に、発生件数が増加していた収入・支出に関する誤りや書類の進捗管理等に関して注意喚起(1月、3月)するとともに、動画による自席研修(12月)を実施しました。 ◆区民からの信頼の土台を築き、協創を推進するため、「公務員倫理」「基本的人権」等の、職業倫理に関する研修を実施しました。 ◆職員の接客力向上を図るため、来庁者アンケートを実施し、全庁配信や掲示板を用いて、結果を報告しました。 ◆接客あだち推進月間(1月)を設け、重点項目(「あいさつの徹底」「対応は目・口・足(体全体)」)を軸に、各職場で接客マナーの向上を図りました。 						
人材育成事務 【職員研修事業、職員の能力を活かす人事】	<ul style="list-style-type: none"> ◆令和5年度特別区職員採用試験の受験生向けに、23区合同職員採用説明会を令和5年1月に実施しました(参加人数294人)。 ◆令和5年度特別区職員採用試験の受験生向けに、オンライン説明会「Webからアダチ」を令和5年3月に実施しました(参加人数85人)。 ◆入区1年目職員及び主任、係長級、管理職等の職員に対し、職層ごとに求められる役割を意識づける職員研修を実施しました。 ◆各職場の要望に応じて、外部研修プログラムの紹介と職場研修支援制度の案内を行い、職場研修の実施に必要な支援をしました(15件)。 ◆より専門的な知識を必要とする法務、ICTなど特定の分野に従事する職員を育成する制度(複線型人事制度)を導入しています。複線型情報誌の発行や、制度改善のための職員アンケートを実施しました(12月)。 						
納税事務	<p>現年課税分の収納率向上のため、督促状発送後早期に財産調査を実施し、その後の速やかな滞納整理に繋がりました。 金融機関への預貯金等照会を令和4年12月にデジタル化し、財産調査のスピードアップと実施件数の増加を図りました。 収納の年度内完結を目的として、令和4年度第1期～第3期分を対象とした区・都民税一斉催告書を令和5年2月に追加で発送しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆特別区民税の3月末の収納率 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>現年分</td> <td>92.43%(令和3年度3月末92.24%【0.19P増】)</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td>39.67%(令和3年度3月末40.62%【0.95P減】)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>91.10%(令和3年度3月末90.79%【0.31P増】)</td> </tr> </table>	現年分	92.43%(令和3年度3月末92.24%【0.19P増】)	滞納繰越分	39.67%(令和3年度3月末40.62%【0.95P減】)	合計	91.10%(令和3年度3月末90.79%【0.31P増】)
現年分	92.43%(令和3年度3月末92.24%【0.19P増】)						
滞納繰越分	39.67%(令和3年度3月末40.62%【0.95P減】)						
合計	91.10%(令和3年度3月末90.79%【0.31P増】)						
国民健康保険料徴収事務	<p>第二次滞納対策アクションプランに基づき、下半期は10万円以上の滞納者に対して催告の拡充による自主納付の機会拡大を図り、また、高額事案の差押えを重点的に実施するなど、収納率の向上対策に取り組みました。その結果、滞納繰越分の収納率が向上しました。 令和5年度は、第三次滞納対策アクションプランに基づき、自主納付の促進や差押えの強化、また、納付資力を喪失した世帯に対し執行停止を行うなどの個々の実情に即した徴収事務を進めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国民健康保険料の3月末の収納率 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>現年度分</td> <td>81.30%(令和3年度3月末81.79%【0.49P減】)</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td>22.26%(令和3年度3月末20.43%【1.83P増】)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>72.52%(令和3年度3月末73.03%【0.51P減】)</td> </tr> </table>	現年度分	81.30%(令和3年度3月末81.79%【0.49P減】)	滞納繰越分	22.26%(令和3年度3月末20.43%【1.83P増】)	合計	72.52%(令和3年度3月末73.03%【0.51P減】)
現年度分	81.30%(令和3年度3月末81.79%【0.49P減】)						
滞納繰越分	22.26%(令和3年度3月末20.43%【1.83P増】)						
合計	72.52%(令和3年度3月末73.03%【0.51P減】)						

令和4年度下半期に実施した主な事業【行財政】

事業名	内容									
<p>後期高齢者医療保険料徴収事務</p>	<p>後期高齢者医療制度の新規加入者は、納付漏れの可能性がある納付書払いから始まるため、保険証送付時に口座振替利用の勧奨を行うなど納付漏れ防止に努めました。令和4年度の年齢到達者は約8,800人となり、令和元年度以降最大となることが想定されていたため、滞納となった場合は職員及び納付案内センターによる電話催告、職員による文書の差し置きを実施し、納付や納付相談につなげました。10月から滞納整理担当により財産調査を開始するなど滞納整理についても早期対応を行いました。</p> <p>滞納繰越分については、差押えを前提とした財産調査に加え、長期間の滞納者に対して保険証発行時に相談機会を作るため短期の保険証を発行し、納付や納付相談につなげてまいりました。</p> <p>納付困難者へは減免制度の案内や分割納付、執行停止欠損を行い、支払い能力のある滞納者は財産差押えや差押えを前提とした納付勧奨を行い、保険料の収納確保に努めました。</p> <p>◆後期高齢者医療保険料の3月末の収納率</p> <table border="0"> <tr> <td>現年分</td> <td>94.96%</td> <td>(令和3年度3月末 95.46%【0.50P減】)</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td>46.55%</td> <td>(令和3年度3月末 40.16%【6.39P増】)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>94.47%</td> <td>(令和3年度3月末 94.69%【0.22P減】)</td> </tr> </table>	現年分	94.96%	(令和3年度3月末 95.46%【0.50P減】)	滞納繰越分	46.55%	(令和3年度3月末 40.16%【6.39P増】)	合計	94.47%	(令和3年度3月末 94.69%【0.22P減】)
現年分	94.96%	(令和3年度3月末 95.46%【0.50P減】)								
滞納繰越分	46.55%	(令和3年度3月末 40.16%【6.39P増】)								
合計	94.47%	(令和3年度3月末 94.69%【0.22P減】)								
<p>足立保健所窓口等運営業務の外部委託</p>	<p>足立保健所(東部保健センターを除く4か所)窓口等運営業務に係る委託後の評価として、窓口アンケート調査を実施しました。</p> <p>期間: 令和5年1月4日～令和5年2月28日</p>									

令和4年度下半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内容
区制90周年記念事業 「10年後の“わたし”への手紙」	<p>区民を対象として、10年後の自分に向けて書いた手紙を募集し、区制100周年を迎える令和14年度に本人に届ける事業を実施しました。</p> <p>◆実施期間 令和4年6月3日～令和5年1月31日</p> <p>◆お預かりした手紙 計6,693通</p>
区立小学校の改築事業	<p>令和5年4月開校に向けて、北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合校となる鹿浜未来小学校を建設しました。</p>
個人番号カード交付拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの出張申請サポートを行いました。 ・マイナポイント第2弾に対応するためマイナポイント設定サポート窓口を設置しました。 ・周知強化としてポスティング、広報誌、HP、SNS等で発信を行いました。 ・別館3階交付会場、イオン西新井店交付会場の交付窓口を拡充しました。 ・休日交付日を増やしました。 ・3月18日から中央館2階特設会場を開設しました。 ・障がい者通所施設・町会などへ申請時来庁方式による出張申請受付を実施しました。 <p>◆下半期交付件数 約97,000件</p>
個人番号カード交付等事務 (コールセンター及び交付受付業務委託)	<ul style="list-style-type: none"> ・別館3階にマイナンバーカードの交付に関するコールセンターを設置しました。 ・別館3階交付会場で交付受付・記入補助業務委託を実施しました。
個人番号カード交付等事務 (出張申請受付委託)	<p>商業施設、地域学習センター・住区センター、北千住駅・竹ノ塚駅でマイナンバーカードの出張申請サポートを行いました。</p> <p>◆申請サポート件数 約13,000件</p>
個人番号カード交付等事務 (個人番号カード交付準備業務委託)	<p>マイナポイント第2弾実施に伴う交付申請数の増加に対応するため、マイナンバーカードの検品作業を委託しました。</p> <p>◆検品件数 約126,000件</p>
個人番号カード交付等事務 (マイナポイント設定支援業務委託)	<p>マイナポイント第2弾の申し込みを支援するためサポート窓口を設置しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆常設窓口 2会場(区役所アトリウム・イオン西新井店) ◆巡回窓口 4会場(地域学習センター、住区センターを巡回) ◆サポート件数 <ul style="list-style-type: none"> マイナポイント申込 約40,000件 健康保険証登録 約40,000件 公金受取口座登録 約39,000件

令和4年度下半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内容
<p>多文化共生推進事業 (外国にルーツを持つ児童生徒等に対する学習支援事業委託)</p>	<p>◆日本語学習が必要で、経済的理由がある外国にルーツを持つ児童生徒等に対し、居場所を兼ねた学習支援事業をNPO法人に委託し実施しました。 ◆在籍者数 33人 ◆実施期間 令和4年4月～令和5年3月 ◆利用日数 711日(令和4年10月～令和5年3月) ◆授業時間数 990時間(令和4年10月～令和5年3月)</p>
<p>区内小学生を対象とした芸術鑑賞体験事業</p>	<p>良質な文化芸術に触れる機会を提供し、豊かな心を育むことを目的として、区立小学校の全小学5年生を対象に芸術鑑賞体験事業を実施しました。 ◆実施日程 ・「ライオンキング」 令和5年1月19日、2月2日、2月3日、2月17日 ・「美女と野獣」 令和5年1月17日 ◆参加人数 延べ4,948人</p>
<p>文化遺産調査関連事業</p>	<p>【文化遺産調査特別展】 区制80周年から本格化した区の文化遺産調査の集大成として、足立の美術史の根幹となる琳派作品を中心に特別展を開催しました。 過去最大規模の来館者数を記録しました。 ◆特別展 ・期間: 令和4年10月9日～12月11日 ・来館者数: 延べ7,117人 ・初導入したスマートフォンを活用した音声ガイドのアクセス数: 3,659回(期間中) ◆電子展覧会など 特別展のWeb特設ページを設けて展覧会の概要や代表的な作品を紹介するとともに、展示内容にあわせて電子展覧会(バーチャル空間での作品鑑賞)を開催し、360度動画(館内展示風景を撮影し、その空間をWeb上で移動しながら閲覧)も公開した。 <アクセス数> ・特設サイトトップ 17,120回(令和5年3月31日まで) ・電子展覧会 7,739回(令和5年3月31日まで) ・360度動画 847回(令和4年11月9日から令和5年3月31日まで)</p> <p>【文化遺産調査漫画「ビビビ美アダチ」書籍刊行】 内容の見直しに伴い令和5年度事業に変更となりました。</p>
<p>郷土博物館管理運営事業 ／展示等運営事業</p>	<p>※上記【文化遺産調査特別展】に同じ</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内容
読書活動推進事業	<p>◆あだちはじめてえほん事業 図書館の利用を促すため、3～4か月児健診受診時に、仮発行した図書館の貸出カードを配付しました。 ・ 配付枚数 2,104枚(10月から3月)</p> <p>◆電子図書館体験キャンペーン 子ども達が電子図書館を通じて書籍に触れる機会を提供するため、区内全中学生に電子図書館のIDと仮パスワードを配付しました。 ① ログイン数 2,272回(11月から3月) ② 貸出冊数 1,387冊(11月から3月)</p> <p>◆郷土博物館との連携事業 郷土博物館の企画展「琳派の花園あだち」と連携し、特製しおりを配付しました。 ① 配布期間 10月から12月 ② 配付場所 区立図書館(15館)、区内の一部書店(17店舗)、郷土博物館 ③ 配付枚数 30,000枚</p> <p>◆地域文化課との連携事業 文化のちから体験会「絵本音楽会(ぽっぷ)」に合わせて、シアター1010で絵本の読み語りや出張貸出を行うアウトリーチ型のイベントを開催しました。 ① 開催日 10月10日 ② 来場者数 248人 ③ 貸出冊数 91冊</p> <p>◆東京藝術大学と連携したコンサート 東京藝術大学と中央図書館が連携したコンサートを初めて開催しました。 ① 開催日 12月6日 ② 来場者数 100人 ③ 貸出冊数 20冊</p>
商業振興事業/商店街活動支援事業 【㊤キャッシュレス還元祭de90周年事業】	<p>コロナ禍で落ち込んだ区内消費喚起とキャッシュレス決済促進のため、消費喚起策の第3弾「㊤キャッシュレス還元祭de90周年事業」を実施しました。</p> <p>◆ポイント還元率 30% ◆キャンペーン期間 11月14日～12月31日 ◆決済総額 76.02億円 ◆ポイント還元額 21.30億円</p>
足立区運輸事業者エネルギー価格高騰対策支援金	<p>エネルギー価格高騰の影響を受け、価格転嫁が困難な足立区内の中小運輸事業者を支援するため、運輸事業者の事業用車両に対し支援金を支出しました。</p> <p>◆申請期間:12月1日～3月1日 ◆交付件数:1,272件 ◆交付金額:128,069千円</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内容
<p>友好自治体提携40周年・30周年記念交流バスツアー促進事業</p>	<p>区制90周年及び友好自治体提携30周年を記念した栃木県鹿沼市への日帰り交流バスツアーを、令和5年3月に3回実施しました。 また、提携40周年である新潟県魚沼市及び長野県山ノ内町へのツアーは、各自治体の魅力を満喫できる時期に実施することとし、令和5年度に延期しました。</p> <p>◆実施日／参加数 ①3月25日／28人、②3月28日／31人、③3月30日／33人</p> <p>◆対象者 区民</p> <p>◆ツアー内容 鹿沼市花木センター(ガイド付き案内)、鹿沼組子づくり体験(木のふるさと伝統工芸館)、屋台のまち中央公園・今宮神社等散策、いちご狩り体験(出会いの森いちご園)など</p> <p>◆協力金 参加者一人あたりツアー代金の2分の1(上限15,000円)を協力金として負担しました。</p>
<p>イノベーション推進事業 (ホームページ作成・更新補助金)</p>	<p>インターネットやSNSをうまく活用できていない事業者に対し、IT導入の初期段階であるホームページ新規作成や更新(リニューアル)に係る経費を補助しました。</p> <p>◆補助上限額:10万円、補助率:2分の1</p> <p>◆募集期間 令和4年5月9日から12月28日</p> <p>◆交付件数 58件</p>
<p>特別養護老人ホーム等の整備助成事業</p>	<p>令和4～6年度の新規開設の特別養護老人ホームに、令和4年度出来高として、総額 312,800千円です。</p> <p>◆令和4年度新規開設の特別養護老人ホーム「新田楽生苑」 4年度出来高 59% 168,205千円</p> <p>◆令和5年度新規開設の特別養護老人ホーム「(仮称)タムスさくらの杜花畑」 4年度出来高 55% 141,747千円</p> <p>◆令和6年度新規開設の特別養護老人ホーム「(仮称)ロイヤル足立」 4年度出来高 1% 2,848千円</p>
<p>新型コロナウイルスワクチン接種</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の重症化・感染・発症予防のために、医師会等と連携しながら、ワクチン接種を円滑に進めるための体制を構築しました。</p> <p>◆10/1～3/31の主な接種実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12歳以上のオミクロン株対応ワクチン接種者数:282,772人 ・5～11歳の3回目接種者数:2,833人 ・6か月～4歳の1回目接種者数:848人 2回目接種者数:750人 3回目接種者数:430人
<p>診療所、薬局等の許可及び相談事業 (医療相談窓口業務委託)</p>	<p>医療に関する相談・苦情への助言および情報提供を行う医療相談窓口について、民間事業者へ業務を委託しました。委託により、昼時間も含めた9時から17時までの相談対応を行うことが可能になりました。</p> <p>◆令和4年度下半期 相談受付件数 216件</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内容
動物愛護衛生事業 (動物の相談支援および保護事業)	<p>高齢や病気などでペットの飼育が困難になった区民を対象とし、一時保護や新たな譲渡先探し等についての動物愛護相談支援窓口を令和4年6月10日に開設しています。その事業の一部をNPO法人に委託して実施しています。</p> <p>◆令和4年度下半期 専門相談 5件 飼い猫保護 4匹</p>
動物愛護衛生事業 (動物愛護啓発事業)	<p>犬・猫の飼育マナーに係る標語川柳を区民公募・区民投票によって選定し、区がデザインしたプレートを作成しました。</p> <p>◆令和4年度下半期 犬の散歩マナー、野良猫への餌やりマナーの2種類、各250部)</p>
動物愛護衛生事業 (猫の不妊去勢手術助成)	<p>飼い主のいない不幸な猫を減らすため、助成金を増加し地域の野良猫対策に努めました。</p> <p>◆令和4年下半期 飼い猫 不妊 354件 去勢 311件 飼い主のいない猫 不妊 198件 去勢 163件</p>
動物愛護衛生事業 (動物愛護啓発業務)	<p>犬の飼い主向け配付冊子(愛犬のしおり)の増刷 マイクロチップ登録開始に伴い内容を一新し、飼い主が持ち運びやすいサイズにしました。</p> <p>◆令和4年下半期 9,000部作成</p>
環境計画推進事業 【脱炭素ロードマップの策定】	<p>脱炭素化に向けロードマップの策定を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆支援業務委託事業者による区のCO₂排出傾向や課題分析 ◆庁内関係所管との個別事業実施に向けた調整 ◆エネルギー関連等事業者との脱炭素化に向けた新規施策の検討 ◆脱炭素ロードマップの策定について環境審議会による審議(11月22日開催 令和4年度第3回環境審議会、2月13日開催 令和4年度第4回環境審議会)
環境保全普及啓発事業 【CO ₂ ゼロ強化キャンペーン事業】	<p>環境問題と関連付けてSDGsを啓発するため、親子向けにSDGs映画祭を開催しました。</p> <p>◆実施日 1月7日 ◆鑑賞した人数 計170人</p>
清掃事務所の運営事務 【新型コロナウイルス対策】	<p>清掃作業員のロッカー室及び休憩室を分散させることにより、集団感染発生を防止するためトレーラーハウスを設置し、安定的なごみの収集運搬に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆設置台数 4台 ◆分散人数 20人 ◆設置期間 令和3年9月9日から令和5年5月30日まで
住宅改良助成事業	<p>ご自身の居住する住宅に対象工事を実施する方へ工事費の一部を助成しました。令和4年6月からは、コロナ禍における新しい生活様式への対応工事を追加しました。</p> <p>◆住宅改良助成申請件数 28件</p>

令和4年度下半期に実施した主な事業【その他】

事業名	内容
区議会施設改修事務事業 (議員登退庁表示盤更新)	議員登退庁表示盤の老朽化に伴い、令和5年1月に議員登退庁表示盤をランプ式からデジタル式に更新しました。これにより、議会構成変更時における迅速な対応や来庁者に対するご案内(本会議・委員会の開会状況等)が可能になりました。